

第2回全国ユース環境活動発表大会の報告

2017年2月4日、5日の2日間、東京・渋谷区にある国連大学で「第2回全国ユース環境活動発表大会」が開催されました。全国から96件の応募があり、審査を経て代表16校が集まりました。1日目は「ユースESD学び合いフォーラム」、2日目は「全国ユース環境活動発表大会」が行われました。表彰式には、山本公一環境大臣も出席され、環境大臣賞が贈呈されました。次世代を担うユースが熱心に発表し、交流した2日間でした。



日程 2017年2月4日(土)、5日(日)

主催 全国ユース環境活動発表大会実行委員会

(環境省、独立行政法人環境再生保全機構、国連大学サステナビリティ高等研究所)

会場 国連大学ウ・タント国際会議場

協力 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)、地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、
全国大学生環境活動コンテスト実行委員会、WWF(世界自然保護基金)ジャパン、
一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)

協賛 キリン株式会社、協栄産業株式会社、SGホールディングス株式会社、
三井住友海上火災保険株式会社



環境大臣賞

長崎県立諫早農業高等学校 / 食品科学部

農業廃棄物の有効利用法 かぼちゃのゼロ・エミッションへの挑戦

長崎県のかぼちゃの生産量は8,160トンで全国4位を誇る。しかしその裏側では、約20%のかぼちゃが形や色の悪さから規格品外として処分されている。そこで規格外のかぼちゃを活用し、新しい加工品として中華菓子「月餅」を開発。また栽培と共

に発生する「蔓」や「葉」は焼却処分しており、その際に生じるCO₂は地球環境に悪影響を与えている。この農業廃棄物を有効利用し、特産の「和紙」を製造することでCO₂排出量の削減と同時に地元産業にも貢献している。



環境再生保全機構 理事長賞

慶應義塾湘南藤沢高等部 / 有志団体 環境プロジェクト

未来の環境は私たちの手に

有志団体「環境プロジェクト」のメンバーは部活動や委員会と両立して活動し、その数は70名にのぼる。「身の回りの全ての、もの・こと・人のつながり」を環境と捉え、「環境に興味を持ち、自身の見聞を深める」・「自らが行動し、啓発の中心となる」理

念を共有し、自身の興味分野で環境と関わっていくことを目指す。6グループに分かれ「小学校授業」では準備に数ヶ月をかけ発案から実践まで全て高校生の手作りで活動している。



国連大学サステナビリティ高等研究所 所長賞

兵庫県立御影高等学校 / 環境科学部生物班

六甲山のキノコにはどんな多様性があるのか

～地域連携から伝える生物多様性～

学校行事の六甲登山でエノキタケを見つけたことがきっかけで「六甲山にはどんなキノコが生えているのだろうか?」と調査を開始。キノコの多様性を調査し魅力を発信し、六甲山のキノコの多様性を多くの人に伝える活動を実践。今までに約500種類

1000点以上を標準化してリアルに伝えるため、公的機関や民間企業からの企画展、鑑定相談、啓発活動などの依頼も多く、地域の活性化、環境への意識の変化にも貢献している。



「第3回全国ユース環境活動発表大会」2018年2月3日(土)、4日(日)開催決定! 参加高校生募集中!